



やまぼうしホーム特集

やまぼうしが最初にグループホーム（当時は生活寮）を開設したのは、今から20年以上前になります。障がいの重い方が暮らす重度生活寮としては都内で最も早い時期の開設でした。「誰もが地域で自分らしく暮らす」という思いが形となり、八王子市内に重度生活寮「みお」ができました。

その後日野市内にも順次開設され、それぞれ単独の事業所として運営していましたが、2014年からは「やまぼうしホーム」という一事業所として一体的な運営をしています。制度的には、ケアホームや重度身体障害者グループホームなどという形を経て、2015年には全てのホームが介護サービス包括型グループホームとなっています。

現在は「やまぼうしホーム」のユニットとして市内に5カ所のグループホームと2室のサテライト住居があり（「みお」は2019年に閉鎖）、30代～70代の、男性16名・女性14名の方が生活しています。

グループホームの一日



各ホームでは5名～7名の、幅広い年齢や障がいも様々な方が、それぞれの生活スタイルで暮らしています。

平日の朝は、各々の通勤・通所時間に合わせ朝食を摂り、身支度を整えて出発となります。夕方通所先から送迎車で帰ってくる方、仕事帰りにジムに行ったり少し寄り道をしたりして帰ってくる方々と様々です。

夕食は、コロナ禍となり少人数での黙食ですが、食後は気の合う人と談笑したり一緒にテレビを観たり等々ゆったり過ごしています。スタッフに色々な悩み相談があったりもします。

サテライトに入居している方は、不安な部分はグループホームやサポートセンターのスタッフの支援を受ける形で、自立した一人暮らしを目指しています。

休日は、帰宅される方もいますが、グループホームで過ごされる方もたくさんいます。平日の疲れを取るためにゆっくりしたり、趣味の時間を過ごしたり外出を楽しんだり、というのは私たちも皆共通ですね。

やまぼうしホームのエピソード

のの
女性7名のユニットです。食べる事が大好きなのは共通しており、コロナ禍でもお誕生会は必ず行っています。たまには喧嘩もみられますが、その後の「ゴメンね」で、笑顔で仲直りしています。



つぐみ
男性6名のユニットです。利用者のHさんとジャイアンツ球場のイベントに参加しました。試合は延長戦となり劇的な幕切れに、巨人ファンのHさんは盛り上がっていました。



げん
女性2名 男性3名のユニットです。1人のサライ仲間が夕食を食べに来寮されています。浴室に水道を使って上げ下げするリフトがあり椅子に腰かけた状態で浴槽へ移動可能です。私は初めて入った時に見て驚きました。



わんど
女性5名のユニットです。皆さん食べる事が大好きですが、体重も気になるところ... ひとりの方のダイエットを看護師のアドバイスのもと、ご本人とスタッフ一同1年掛けて頑張りました。結果65kg→55kg ときれいに痩せることができました!! 現在2人目進行中です。乞うご期待!



めぶき
利用者4人と自分が、揃って練馬からやまぼうしに移り、早いものでかれこれ11月で4年になります。その間、新しい利用者2人が仲間になり、2人が他のグループホームに旅立ちました。私自身、やまぼうし内の他グループホームでの勤務で、色々な利用者、スタッフと交流しながら現在も修行を積んでいる最中です。その中で、利用者の持つ純粋な心にいつも胸を打たれます。これからもその純粋さに応えられるよう、誠実な支援を続けていきたいと思っています。

